

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.14 平成29年10月17日発行
発行責任者:古川 正史

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org



職場づくりの良さは、なんですか？
学校づくりを振り返り、
次年度の展望を持つ議論を！

いつ、なにをすればいい？ 分会としての時期別の取り組み

「学校づくりと人事の取り組み」の中では、ひとつひとつの分会での議論や活動が重要です。当面の取り組みについてまとめます。

10月

「人事異動要領」が出され、校長先生から学校づくりの方針が出されます。

【分会での取り組み】

- ①分会会議での学習
- ②「学校づくりと人事の第一次懇談資料」による校長先生との懇談
- ③組合調書の集約もお忘れなく。支部集約日の確認を！
- ④切実な要求を持つ方がいる場合は早急に支部と連携
- ⑤ 今年度の学校づくりの到達、来年度に向かっての学校づくりの願いを分会・職場で語り合い「分会懇談資料」にまとめよう。
- ⑥校長先生との懇談を。分会員全員で懇談をお願いする例もあります。「懇談記録」を作成して支部へ。
- ⑦異動対象者・希望者の「面接を受ける希望」を集約しよう。



⑧ 調書作成・面接の際は…

- ◆面接前に、自身の思いが固まらない場合には、分会長・支部執行部の先生に相談しましょう。
- ◆面接後には、話した内容を分会長さんと交流し、不安が残らないようにしましょう。

11月

局面接の時期。分会では懇談資料を作成しましょう。

12月

人事の動向について、めくばり・気配りを。気になることは分会支部に相談を！

12月以降は、ひとりひとりの人事について異動対象者・異動希望者と校長先生との間でのやり取りに注視。動きがあるかどうか、どんな話になっているかに気を配りましょう。

各学校では、異動希望者・異動対象者のみなさんと校長先生が面談し、調書提出の締切という時期になりました。同時に、宗谷教組の分会として、独自に「今年度の学校づくりの取り組みの力合わせ（到達）と、来年度に向けての願いや思い」をまとめる取り組みを行います。分会会議の回数は増えるかもしれませんが、この取り組みがあるかどうか、民主的に行うことが、豊かな学校づくりにつながります。ひとりひとりが思いを表すことができるように

取り組みを進めましょう。

例えば拡大版分会会議 職場集会以て

学校は教職員の力合わせによって動いているのは言うまでもありません。このことを踏まえれば、分会による「学校づくりと人事の分会懇談資料」には、宗谷教組に加入する方の願いをまとめることが第一義的に大切しながら、いわゆる「教職員集団」の願いを広くまとめていく視点も大切です。短時間で職場のみなさん

例えば「アンケート」で

短時間で職場のみなさん

分会懇談資料をもとに 校長先生と懇談を！

「具体的にどんなことを

の想いを汲み取る方法にアンケートが。学校づくりの到達や課題と願い、教育条件整備についての要求をひとことアンケートでまとめる方法もあります。

分会懇談資料って…？

①今年度のがんばり…力合わせの到達

- ◆子どもの成長と、さらなる期待（課題も含めて）を子どもの姿でたくさん語ろう。
- ◆親や地域との力合わせ、子育ての現状（苦勞、悩み、動機）も語ろう
- ◆教職員集団としての成長、がんばり、課題はなんだろう

②こうした語り合いをもとに…要求はなんだろう

- ◆今年度のがんばりを来年度につなげるために必要なこと
- ◆今年度の課題を乗り越える力合わせのために必要なこと
- ◆教職員集団としてより強くなるための分会・職場に必要な視点
- ◆加配を置くことの願いなど定数に関わること
- ◆指導要領改訂に伴う教育課程づくりや教育条件整備は？

③一人ひとりの願いや想いをくみ取ろう

- ◆学校づくりに対する決意と要求
- ◆一人ひとりの生活要求・教育要求
- ◆異動希望者の異動理由
- ◆異動先での教育要求

Go! Go! go-ken! みんなで 合同教研に行こう!

秋の学びと言えば、合同教研です。すでに少しずつ申し込みをいただいています。宗谷教組としてのおすすめをピックアップします。ぜひ、札幌に集いましょう。

おすすめ1 テーマ討論

「改訂学習指導要領で子ども・学校・教育がどう変わる？」

学習指導要領に関する現状、教育課程づくりへの展望を全道規模で交流します。檜山・上川・札幌から話題提起の発言があった後、ディスカッション形式で全道の様子をもとに学び合います。コーディネーターは、宗谷教組本部・内藤が担当しています。

おすすめ2 24の分科会

「どれに行ったらいいかわからないよ」という方もいるでしょう。10月15日現在で、下記の分科会には宗谷教組の先生方の参加が確定しています。ひとりじゃ不安だけど、宗谷の先生がいれば心強いものです。レポートを持たない参加も歓迎です（オブザーバー参加といえます）。

- (1) 国語教育 レポーター2名
- (2) 外国語教育 司会者で参加、オブザーバー参加あり
- (8) 音楽教育 レポーター1名
- (11) 保健・体育教育 養護教諭分分会：レポーター1名
- (12) 総合学習・生活科 司会者で参加
- (13) 特設【道徳】 レポーター1名
- (15) 教育条件確立の運動 司会者で参加、レポーター2名
- (16) 教育課程・学校づくり 司会者で参加
- (17) 子育て・学習運動 レポーター1名
- (20) 障害児・障害者教育 オブザーバー参加あり

おすすめ3 夜の大交流会

今年も各単組、各分科会の共同研究者のみなさんと交流する場を宗谷主催で行います。

3日 20:15~西11丁目駅近辺です

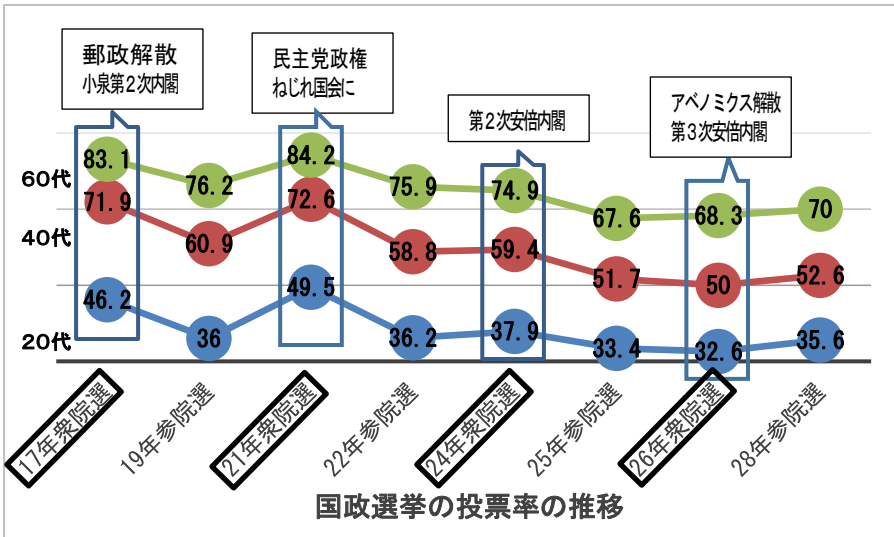
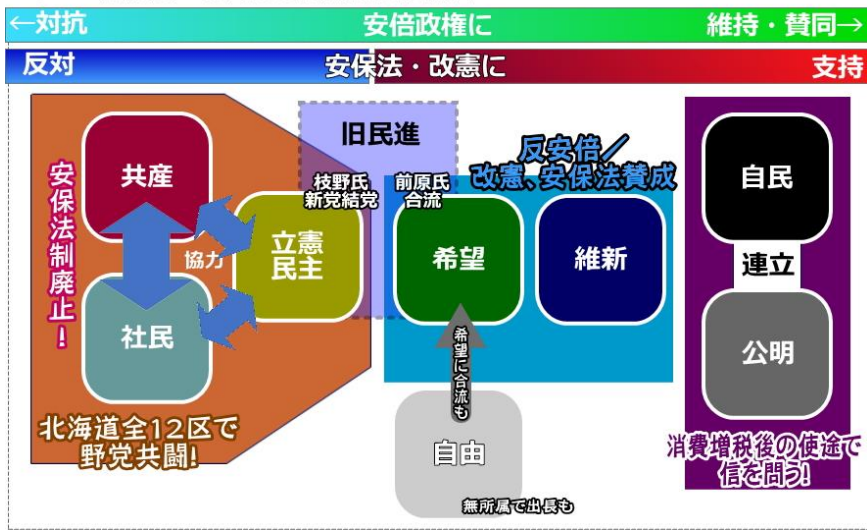
全日程参加が厳しい方は…

3連休なので参加はしやすいものの、「札幌は遠くて…」という方には次のような参加も。

- ①1日目朝「テーマ討論」から2日目午前まで参加
- ②1日目のみ参加、交流会に出て2日目は帰る
- ③1日目昼の「分科会スタート」から参加して最後までいる など

本部としての願いは、「多くのみなさんと札幌に集う」ことです。ご検討をお願いします。

2017衆院選 見えてきた衆院選の構図



算の審議などはもちろん春から取り沙汰されてきた「森友・加計学園問題」の真相は解明されないまま衆院選。一〇月になってバタバタと政界再編が起こったことも理解を苦しめる要因になっています。安全保障法、改憲についての態度で大きく3つの勢力に分かれます。個別の課題については、政治マッチングサイトが便利です。私たちが営んでいる教育のことも気になります。選挙の際によく言われるのは「自分の考えに限りなく近い」という選択を、『すべてが一致』はあり得な

① 学びあいを基本に
私たちの要求を改めて明確にしあい、要求を阻む政治の根元について、事実を通して学びあうとともに、要求実現のための政策を積極的に学習しあいましょう。

② 政党支持の自由を明確にして
思想・信条の自由は、憲法に明記された民主主義の根本原則です。教職員組合として、一人ひとりの政党支持の自由を明確にしあいましょう。

宗谷教職員組合では、選挙に対する方針を左のよう示しています。職場では文書で「政治的行為の制限について」の説明がされています。「教職員は選挙にも行けないのか」というような誤解が生まれることがある空気がありますが、実際は下図のように、「していいこと・してはいけないこと」が明確です。

安政法改憲の是非が問われる選挙
秋の臨時国会は、召集された冒頭での解散。補正予

また、国会議員選挙では世代別の投票率が話題になります。投票率の上下と政治の変化は密接に関連しています。有権者として私たちが権利を行使することが大切であることがわかります(左表参照)。

衆議院選挙を節目に
子どもたちの未来を考えよう

インターネットで調べてみよう!

Yahoo!みんなの政治
10個の質問で、政党との「相性」がわかります。

毎日新聞ポータルマッテク衆院選
候補者に対するアンケートと同じ25問の質問に答えて一致度がわかります。

教職員と選挙 できることとできないこと

ひとりの有権者として勤務時間外にできることは...

- 投票に行くこと** (憲法で保障された選挙権の行使)
- 選挙に関する報道を知る** (憲法で保障された表現の自由)
- 政治課題について考える** (憲法で保障された思想・信条の自由)
- 友人・知人と選挙の話をすること** (憲法で保障された言論の自由)
- 街頭宣伝を見に行く** (単に参加するのは可。(人事院規則14-7の運用方針))
- 各政党の政策を比較するなどの学習会をすること** (組合内など非公開の会合の場合は認められる(人事院規則14-7の運用方針))

教職員として、してはならないことは...

- 特定の政党、候補者について賛成または反対する意見を児童生徒や保護者に対して明らかにすることはできません!** (教育基本法、教育公務員特例法、公職選挙法、人事院規則に規定あり。)
- 候補者の推薦に関与、後援団体を結成すること** (X)
- 街頭・集会などで特定の政党や候補者を支持又は反対する意見を述べる** (X)
- 選挙のため、学校のコピーやFAX等を使う** (X)
- 学級通信に政党・候補者のことを書く** (X)
- 保護者に投票の勧誘をする** (X)

「1」ということです。学芸会当日が投票日という方もいるでしょう。忙しい中で、一歩立ち止まって、この国の未来を考え合いましょ。

葉の言 editorial note

◆めっきり寒くなってきましたね。ないとは、この時期に教室では「初雪予想クイズ」をして季節を楽しんでいたのを思い出します。
◆学校祭・学芸会が終わると2学期ラストに向けての学習を仕掛ける時期に。しっとり学習をすすめる頃です。その前に、合同教研で学び合いませんか? みなさんの参加報告を楽しみに待っています。
(naity)